

自主防災 シンポジウム 2023 阿賀野

定員 **100** 名

参加無料

手話通訳あり

日時 **11月5日** 

開場 / 9:00 開会 / 9:30

会場 阿賀野市水原保健センター
2階「研修室」

〒959-2092 阿賀野市岡山町10-15

プログラム

9:00 開場

9:30 開会・主催者挨拶

9:40 **講演1** 災害犠牲者ゼロを目指すには
自助力と共助力から

～個別避難計画作成にタイムラインの活用を～

伊永 勉 氏（一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長）

10:40 休憩

10:50 **講演2** 女性の視点、多様な視点で
取り組む防災・減災

～東日本大震災の経験をふまえて～

宗片 恵美子 氏（NPO 法人イコールネット仙台 常務理事）

11:50 閉会挨拶

主催 新潟県、阿賀野市、一般財団法人地域社会ライフプラン協会

※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

開催趣旨

自分の身は自分で守る「自助」、自治会や自主防災組織など地域で助け合う「共助」は災害時及び復旧・復興時に大きな力となります。住民の一人ひとりが災害リスクを認識し、災害に強い地域づくりを進めるためには、個別避難計画の作成や防災・減災の取組を進めていくことが大切です。このたび、新潟県と阿賀野市、一般財団法人地域社会ライフプラン協会では、それらの理解が深まるよう「自主防災シンポジウム2023in阿賀野」を開催します。

講師プロフィール



伊永 勉 (これなが・つとむ) 氏

一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長

阪神・淡路大震災で、官民連携の典型と評価された西宮市のボランティア組織を結成して被災者支援活動を行った後、我が国初の民間防災研究機関であるエイディアイ災害救援研究所を設立。以降、相次ぐ豪雨災害・火山噴火・東日本大震災や熊本地震、イラン・台湾等海外を含む延べ30回以上の被災地支援活動を実施。国・自治体・社協・福祉事業所等の防災計画・BCP等の作成、訓練・研修・講演等は3千回に及び、国土強靱化や防災に関する各種委員会等に参加し、これまでの経験を活かし、2017年に「ふくし防災」をキーワードに、非営利の社団法人を設立。逃げおくれゼロや災害犠牲者を減らすことを目標に、個別避難計画策定への支援など、自助・共助による地域防力の向上を目指した活動を展開している。



宗片 恵美子 (むなかた・えみこ) 氏

NPO 法人イコールネット仙台 常務理事

2003年、男女共同参画の推進に向け、イコールネット仙台の設立にかかわる。東日本大震災発生以降、避難所・仮設住宅における支援活動・調査活動に取り組み、女性防災リーダーの育成にも力を入れてきた。その後、避難所に関するワークショップ等、地域防災力向上に向けた各種講座を継続的に行っており、2021年には、「東日本大震災から10年を振り返る『震災と女性』に関する調査」を実施した。

仙台市震災復興検討会議委員、内閣府中央防災会議防災対策推進検討会議委員、仙台市防災会議委員等を経て、現在、気仙沼市防災会議委員等を務める。

参加申込

電子メール、FAX、電子申請のいずれかの方法で下記申込先へお申込みください。

電子メールは、件名を【シンポジウム申込み】とし、本文に参加者全員の氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを入力の上、下記アドレス宛てお申込みください。電子申請は、下記QRコードからお申込みください。

阿賀野市役所 危機管理課

TEL: 0250-25-7194

FAX: 0250-62-0281

Mail: kikikanri@city.agano.niigata.jp



※お申込みされた方への整理券等の発行はいたしません。直接、会場へお越しください。

※応募者多数で定員を超えた場合には、先着順とさせていただきますので、ご了承ください。選外となった方のみ、ご連絡をいたします。

※新型コロナウイルスの感染状況または気象状況により、やむを得ず中止することがあります。中止の際は、メールにてお知らせいたします。メールアドレスの記載がない方には、電話にてご連絡をいたします。

申込締切 **2023年10月31日** 火

交通アクセス



お車をご利用の場合

- 自家用車 可、市役所駐車場を利用

〔公共交通機関をご利用の場合〕 JR水原駅から徒歩で約14分
阿賀野市営バス(10路線)「阿賀野市役所」下車

自主防災シンポジウム2023 in 阿賀野

FAX申込書

※個人情報の収集、利用については、本シンポジウムに係る事務に必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス